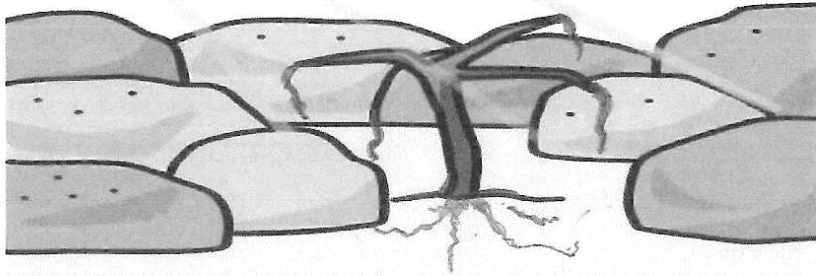


<根を張れない種>

マルコ4：1～9



イエス様が語られた「種を蒔く人」の譬え

種を蒔く人が、種まきに出かけた。収穫を期待して種を蒔いた。しかし種は落ちた場所が違ったので、違う結果をもたらした。

【4種類の土地】

1つ目は道端。2つ目は岩地。3つ目はいばら。4つ目は良い地。

まかれた種 = 人の心にまかれる神のみことば。

4つの土地 = 人の心の状態。神の御言葉をどのように聴くのか。

◆岩地に落ちた種は、土が深くなかったので「すぐに芽を出した」

同じように、岩地に蒔かれるとは、こういう人たちのことです—みことばを聞くと、すぐに喜んで受けるが、根を張らないで、ただしばらく続くだけです。それで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。16、17節

気質の問題か・・・？ いや、そうではない。「根がないため」

◆人の情熱だけで、信仰の道を全うすることは出来ない。

信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

ローマ 10 : 17

「キリストについてのみことば」は良い知らせ。聞き続けることが重要。

みことばに生きるなら、主の約束に対する確信が自分の内ではっきりとしてくる。

最も力強い祈り。それは、みことばを握って祈ること！

あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいもの求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。ヨハネ 15 : 7

- ◆外に見えない面、それが根の部分。毎日の生活の中で神と交わり、聖書に親しむ。これが信仰生活における根。厳しい試練の風が打ちつける時でも、根がしっかりと張っているなら、倒れることがない。

根が伸びることが出来なかった要因は、岩地であったから！

表面からは見えない部分に、根を張らせないごつごつとした岩があった。

岩のように砕かれていない心の中に、みことばは根を張ることが出来ない。

心の中にある大きな岩を取り除けるかどうかが鍵となる。

- ◆当時、イエス様を慕ってきた人は多くいた。しかし、ローマ支配からの解放のための政治的指導者としての期待や、目先の問題の解決や苦しみの改善のために、信じた人たちは、困難なことや自分の思うようにいかなくなると、イエス様から離れてしまった。